



年の瀬

2013年震災から3度目の年の暮れ、今年は公営住宅(大町、源水、吉里々々)入居が始まり、新居で正月を迎える、一歩前進の明るい兆しの年となり、これから町方等、盛壮へと進む運びとなります。これからも、辛抱の時を重ね、試練を乗り越え、めざす場所へ、一直線、健康だけは留意して下さい。

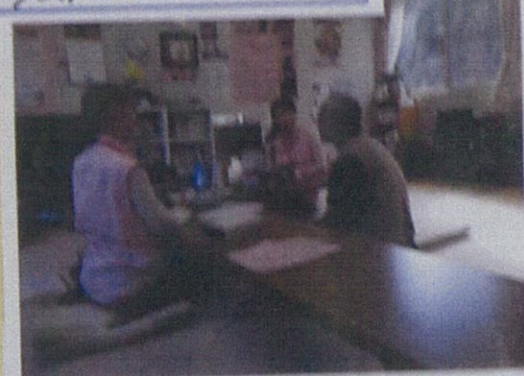
ふるさとは今も心に

「東日本大震災、東北三県沿岸部一帯を飲み込み、あまりに広範囲で町が消え、いまだに大槌と同じ荒涼とした風景が目に入ってきます。自分達も、大槌の復興の遅いのに、気持ちは何もかちで、公的機関の施設、学校、病院、警察、消防等もまだ仮設で、それでも子供達は、この震災を機に大人に負けないくらい町を思い、活動、成長していく姿に感動させられます。大人の私達も、腰を据えて、新しく生まれる大槌を楽しみに、一日一日、大いに過ごしましょう。」

お知らせ、

「4の1」岩何テさん、念願かなって、赤浜の仮設へ転居しました。

健康相談



クラフト教室

